2025

# 共通テスト ズバリ！的中

歴史総合，世界史探究

## 「モダンガール（モガ）」に関する知識が正誤判定の判断材料となる

## 共通テスト

### 第1問　問5

問 5　1班は，1920～1930年代の東アジアの女性の装いについて調べ，**パネル1**を作成した。**パネル1**から読み取れることや，その背景について述べた文として最も適当なものを，後の①～④のうちから一つ選べ。 5

**パネル1**

- 欧米の最新の装いや髪型を模倣した女性は，1920年代後半の東京や大阪で，モダンガールと呼ばれた。
- 大衆化の進展に伴い，1930年代の京城や上海，天津などでも，モダンガールの装いが見られた。
- 上海で1931～1937年に発行された女性誌『玲瓏』では，モダンガールが表紙を飾ることもあった。

① 日本のモダンガールと呼ばれた女性の髪型は，ロングヘアーを特徴としていた。

② 東アジアでは，独立国，植民地，租界を問わず，モダンガールの装いが見られた。

③ モダンガールが闊歩した1930年代の京城には，統監府が設置されていた。

④ 『玲瓏』が上海で創刊された当時の中国は，中華人民共和国である。

## 河合塾

### 第3回　全統共通テスト模試　歴史総合，世界史探究　第1問　問4

B　次の**資料1**はアメリカ合衆国における，**資料2**は日本における，それぞれの日常生活の変化について説明した文章である。

**資料1**

19世紀前半の娯楽施設，とりわけ劇場では，諸階級・男女の混在が一般的だった。同一施設のなかで，金持ちは二階のボックス席，中産階級は一階最前

・
・
・

1920年代の若い女性は化粧品を使い，ストッキングを着用し，人前でも喫煙をはばからなかった。彼女たちはスカート丈を短くし，ボブド＝ヘアと呼ばれる短く切り詰めた髪型を好んだ。このような女性に対して1920年代には イ という呼び方が定着した。

問 4　**資料1**・**2**中の空欄 ア ・ イ に入る語と，**資料1**・**2**から読み取れる1920年代のアメリカ合衆国と日本の社会の共通点との組合せとして正しいものを，次の①～⑥のうちから一つ選べ。 4

| | ア | イ | 読み取れる共通点 |
|---|---|---|---|
| ① | テレビ | モダンガール（モガ） | 娯楽文化の主な担い手は，ホワイトカラーなど新中間層であった。 |
| ② | 映　画 | モダンガール（モガ） | 娯楽文化の主な担い手は，ホワイトカラーなど新中間層であった。 |
| ③ | テレビ | モダンガール（モガ） | 娯楽文化の主な担い手は，職工などの労働者であった。 |
| ④ | 映　画 | フラッパー | 娯楽文化の主な担い手は，ホワイトカラーなど新中間層であった。 |
| ⑤ | テレビ | フラッパー | 娯楽文化の主な担い手は，職工などの労働者であった。 |
| ⑥ | 映　画 | フラッパー | 娯楽文化の主な担い手は，職工などの労働者であった。 |

【学習の手引き】

③**イ**．モダンガール（モガ）は，フラッパーと同様の特徴を持つ大正時代の日本の女性に対して用いられた表現で，**資料2**の「銀ブラ（銀座をブラブラ）する」「『和服に断髪』『膝までのスカート』など」の女性のこと。

共通テスト本試験・全統共通テスト模試ともに、1920 年代における女性の装いといった、歴史総合のテーマの１つである「大衆化」についての問題。全統共通テスト模試では資料に当時の女性の髪型についての言及があり、「学習の手引き」の解説部分にもモダンガールの外見的特徴を述べている。模試の受験後、きちんと「学習の手引き」を活用した復習をしていた受験生にとっては、共通テスト本試験の選択肢①が「モダンガールの外見的特徴に該当しない」と、容易に誤文であることに気付いたであろう。

河合塾